

令和7年度 品川区総合戦略推進委員会
議事概要

日時：令和8年3月24日（火）16:00～17:15

場所：品川区役所 第二庁舎6階 262会議室

<議事次第>

1. 開会

2. 委員紹介

3. 委員長挨拶

■委員長

- ・区の実施については、基本的に所管課が中心になってモニタリングを実施していると思うが、この総合戦略推進委員会は、全庁横断的な視点や、経年変化という視点で評価ができる良い機会と考えている。
- ・年に一度の区政の健康診断のようなイメージになると思うので、しっかりと審議および評価を行っていききたい。

4. 委員会運営について

- * 事務局より、資料3（品川区総合戦略推進委員会公開基準）について説明。

■委員長

- ・本委員会の公開基準および傍聴に関する取扱要領について説明があった。この基準により会議を運営することに異議はないか。

■委員

- ・異議なし

5. 品川区総合戦略の取組状況について

- * 事務局より、資料4（品川区総合戦略の取組状況について）について説明。

■委員長

- ・ここから令和6年度の取組について評価を行っていく。令和6年度が3か年計画の最終年度であり、令和7年度からは新しい総合戦略に移行していることも踏まえて議論を行いたい。
- ・説明内容、配付資料について、質問、意見等があればご発言いただきたい。

■委員

- ・ 4点、質問と意見を述べさせていただく。
- ・ 1点目が、「品川区に定住を希望する理由として、『子どもを育てやすい』『子どもの教育環境が良い』と回答する区民の割合」という目標が達成できていないという状況であるが、他区の状況は把握しているか。
- ・ 目標未達成の考察として、いじめの解消率や不登校出現率について言及があったが、これらの数値の推移については、社会的なものであると考える。
- ・ 目標を達成したか否かという視点は当然大切だが、他区と比較した場合における品川区の立ち位置を把握することも重要と考える。
- ・ 2点目は、区有施設使用料について。外国人人口・外国人宿泊客が増加していること、また、しながわ水族館の入館者数が伸びているというところから、区有施設における訪日客向け料金設定、いわゆる「二重価格」を検討してみてはどうか。
- ・ ヨーロッパでは二重価格設定がスタンダードになっている。
- ・ 3点目は、町会・自治会について。ほかの事業も含めて、事務事業評価シートを確認したが、防災面ではeラーニングを活用して、良い結果につながっているという事例も見受けられた。アプリやインターネットを活用し、町会・自治会活動の活性化につながるような取り組みを行ってみてはどうか。
- ・ 最後に4点目、図書館について。品川図書館の利用者満足度は令和5年度から令和6年度にかけて約10%上昇している一方、地区図書館のそれはほぼ横ばいの状況である。比較検討して、地区図書館の利用者満足度向上につなげることができるとはならないか。

■事務局

- ・ 順番にお答えする。
- ・ 1点目の品川区定住意向に関する世論調査の結果について、他区の数字は捉えられていないが、世論調査の設問を工夫するなどして、状況を的確に把握し、施策に反映できればと考えている。
- ・ 2点目の区有施設の二重価格設定については、現在、区では、区民と区民以外で使用料金を区分することを基本としている。ご提案の内容については、区有施設を観光資源として捉えた場合、歳入増が見込めると思うが、施設特性や他自治体動向を見ていく必要があると認識している。また、国か都が博物館等で外国人料金の導入に向けて検討しているという報道もあるため、この状況も注視したい。
- ・ 3点目の町会・自治会については、区として、町会・自治会に対するICT化・デジタル化の支援を実施しているところである。また、町会・自治会の好事例を横展開していくような取り組みも行っている。

- ・若年層や現役世代が、いきなり町会・自治会に加入するには負担等の面で課題があるため、まずは、若年層に町会・自治会の主催する地域のまつりなどに参加してもらい、いわば「若年層が緩やかに町会・自治会とつながる」ような支援を行うという考え方もある。
- ・4点目の図書館については、推測となるが、品川図書館は区が直接運営、地区図書館は指定管理という違いがあり、この違いが利用者満足度に影響している可能性がある。ここは掘り下げていく必要があるものと考えている。

■委員長

- ・品川区の定住希望理由として、世論調査では、交通や買い物の利便性を評価する意見が多いものと記憶している。この利便性というメリットが非常に大きいため、子育てや教育に関するところに、回答者が「○」をつけないというケースも想定できるように、数値の取得方法が難しい部分もあるということは理解する。

■委員

- ・全体を通して見て、△や×の結果であっても、年度ごとに数字が上昇しているものも見受けられるため、一定の評価はできるものと考えている。
- ・品川区は、日本経済新聞社・日経BPの「共働き子育てしやすい街ランキング」で1位となっていたが、定住希望理由における子育て・教育の部分で△、×となっていることが目に入った。区独自の目標を追うことはもちろん重要だが、他自治体との比較も重要という意見には賛同できる。
- ・町会・自治会に関しては、品川区がすべての町会・自治会が活用できるようなアプリを作るようなことは考えていないのか。

■事務局

- ・基本的には、町会・自治会の自主性や独自性を尊重するという観点から、画一的なものを区で用意するようなことは考えていない。

■委員

- ・普段は意識することはなかったとしても、町会・自治会の維持は、住みやすいまちづくりにつながっていくと思うので、施策をしっかりと行っていただきたい。
- ・また、外国人に関しては、外国人増加に対するネガティブな意見もあろうかと思う。区としては今後も増加を目指すという考え方なのか。

■事務局

- ・例えば介護人材の確保という観点では、区として外国人雇用を支援する取組みを行っているように、外国人人口増加を前向きに捉えているという側面もある。
- ・一方で、民泊に関する部分でネガティブな意見があることは承知しており、非常にデリケートな問題と考えている。
- ・地域住民と外国人の共生社会の実現に向けて、様々な取組みを進めていく必要があると認識している。

■委員

- ・オーバーツーリズムや生活環境の共有など、非常に難しい問題かと思う。
- ・個人的な肌感覚では、外国人人口はもっと増えていくと思う。群馬県の大泉市は、ブラジル人との共生に向けて、様々な取組みを実施している。そういった自治体の事例を参考してみてもどうか。一度ネガティブな印象が付いてしまうと、後からそのイメージを払しょくするのは非常に難しい。課題が顕在化する前に、先手を打って、施策を進めていくべきと考える。

■委員長

- ・総合戦略全体として、経年で見ると良くなっているものもあるので、総体として計画がとん挫しているようには見えないが、個別な取組みについて、私からも3点申し上げたい。
- ・1点目、合計特殊出生率について。そもそもこの総合戦略策定においては、少子化対策が一丁目一番地であった。合計特殊出生率1.45という目標は非常に厳しいが、その厳しさを理解するためにあえて高い目標を置いているという側面もあったと思う。
- ・一方で、区として、「定住型のコミュニティ」を目指すのか、または「生活に便利な場所」を目指すのかというように、区の方向性を踏まえて、合計特殊出生率の目標の持ち方を考える必要もある。
- ・合計特殊出生率は、転出入に左右されるため、国全体でなく自治体単位で考える場合に、目標に掲げることが適切かどうかは、検討の余地がある。
- ・2点目は、中小企業の事業承継支援について。これも、区内の事業者にもさまざまな希望があると想定されるので、区として「地元で事業継続する人を支援する」のか、「新規の取組みでこれから羽ばたいていく人を後押しする」のか、しっかり支援の方向性を検討すべきであると考えます。
- ・3点目が小学生の交通事故死傷者数について。痛ましい内容であり、区民目線ではショッキングな内容に映る。しっかり分析する必要がある。

■事務局

- ・出生数自体は、合計特殊出生率ほど大きく低下してはいない。
- ・しかし、ファミリー世帯が転出超過であるという事実は存在しているため、この部分では対策が必要であると認識している。

■委員

- ・ファミリー世帯の転出超過については、家賃の上昇等が影響しているものと思われる。区としての対策が難しい部分もあると思うが、住宅事情についての課題にしっかりと向き合っていたいただきたい。

■委員長

- ・経済状況・社会状況については、総合戦略策定の段階から大きく変化しているので、その点は留意する必要がある。

■委員

- ・小学生の交通事故死傷者数については、一貫して30名程度存在している。事故発生場所やタイミングなどの共通要素を抽出し、しっかり対策を行ってほしい。
- ・総合戦略に直接関連はしないが、区役所内部のDXの状況はどうなっているのか。生成AIの活用など、問題もあるとは思いますが、使っていないと遅れてしまうので、活用を推進する必要があると考える。

■事務局

- ・100%ではないがDXは着実に進んでいる。生成AIの導入なども行っているが、活用にあたっては、誤情報の抽出等の問題もあるため、職員のリテラシー向上のための取組みと合わせて進めていく必要があると認識している。
- ・次年度以降は、事務事業評価等にも活用していきたいと考えている。

7. その他

■事務局

- ・本日の会議資料については、ホームページに掲載する。
- ・議事概要案を作成の上、後日、各委員の皆様にご確認いただいた上で、区ホームページに掲載する。

8. 閉会

■委員長

- ・以上をもって本日の委員会を終了する。

—以 上—